

## PRESTO W91

### 50Lのガラス反応容器で 20℃から最低到達温度まで 冷却運転

#### 目的

このケーススタディーでは50Lガラス反応容器と接続されたPRESTO W91の最低到達温度試験を行います。このPRESTO W91と反応容器は2m長のメタルチューブ2本を介して接続されており、+20℃から可能な限り低い温度まで冷却させます。

#### 使用環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電圧	400 V / 50 Hz

#### 試験環境

ラボ装置	PRESTO W91
冷却能力	+20 °C 11 kW 0 °C 10 kW -20 °C 9.5 kW
加熱能力	12 kW
帯域制限	無し
流圧	0.5 bar
バスリキッド	サーマルHL80
反応容器	50Lガラス反応容器(QVF) (サーマルHL80 35L入)
ジャケット容器	26.5L
温度制御	外部制御(ICC)

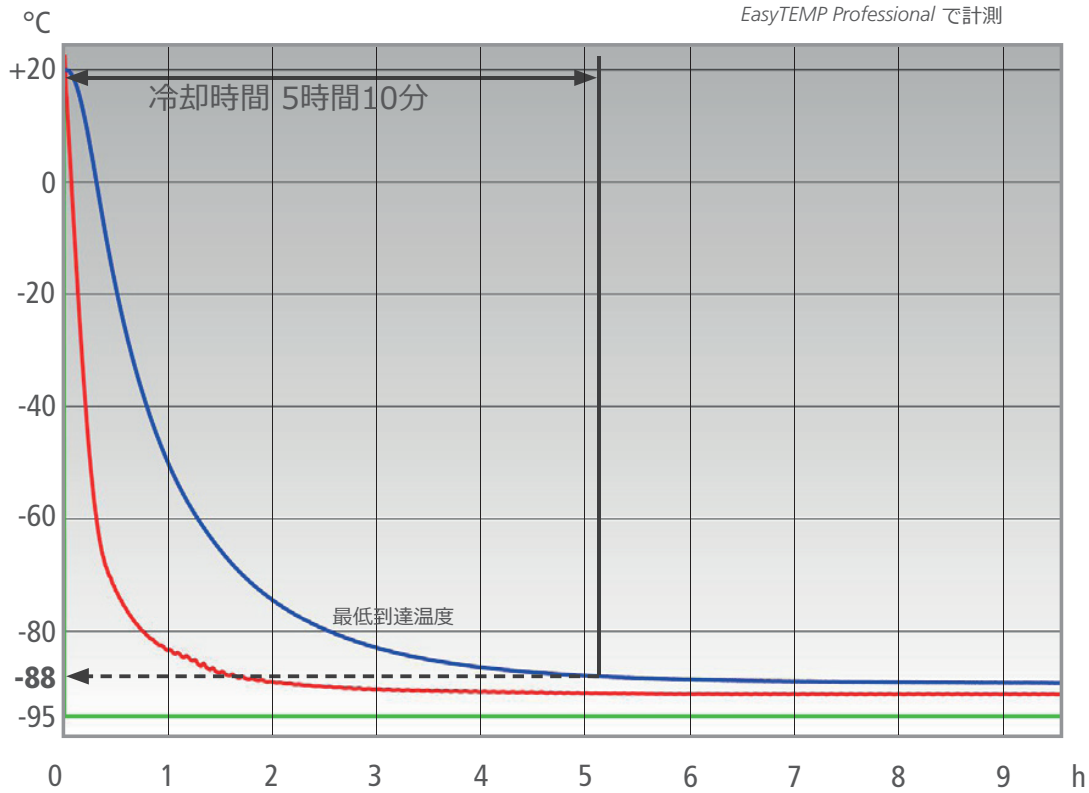
#### 制御パラメーター

Xp	0.2 K
Tn	720 s
Tv	100 s
Xpu	24 K



## 試験結果

PRESTO W91は5時間10分で+20℃から最低到達温度まで到達。  
上記の条件で最低温度は-88℃となった。



- 設定温度
- 反応容器内温度
- ジャケット温度

### 特徴

PTFEコーティングされたPt100センサーも使用可能。



### 特徴

弊社のチューブアダプターをご使用いただければチューブがよじれることはありません。

